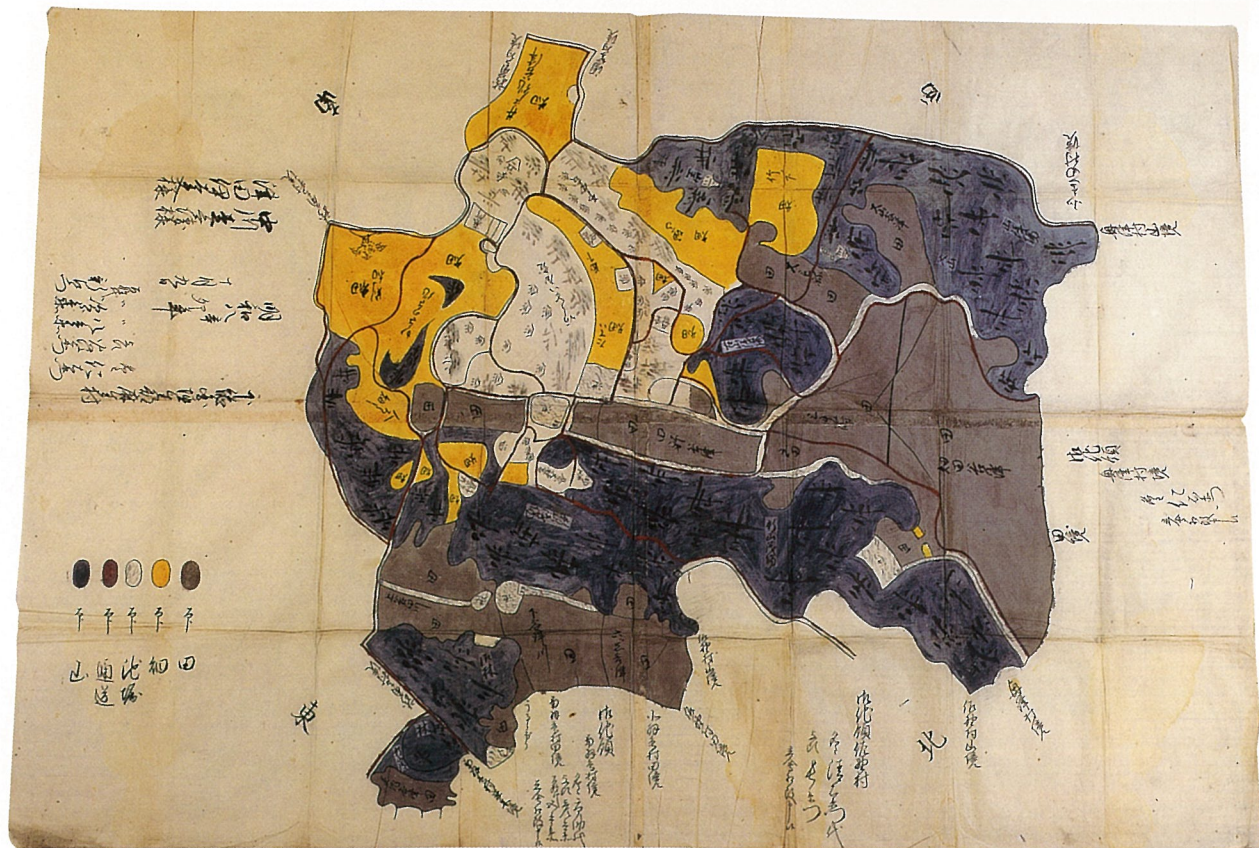


# 栄町史

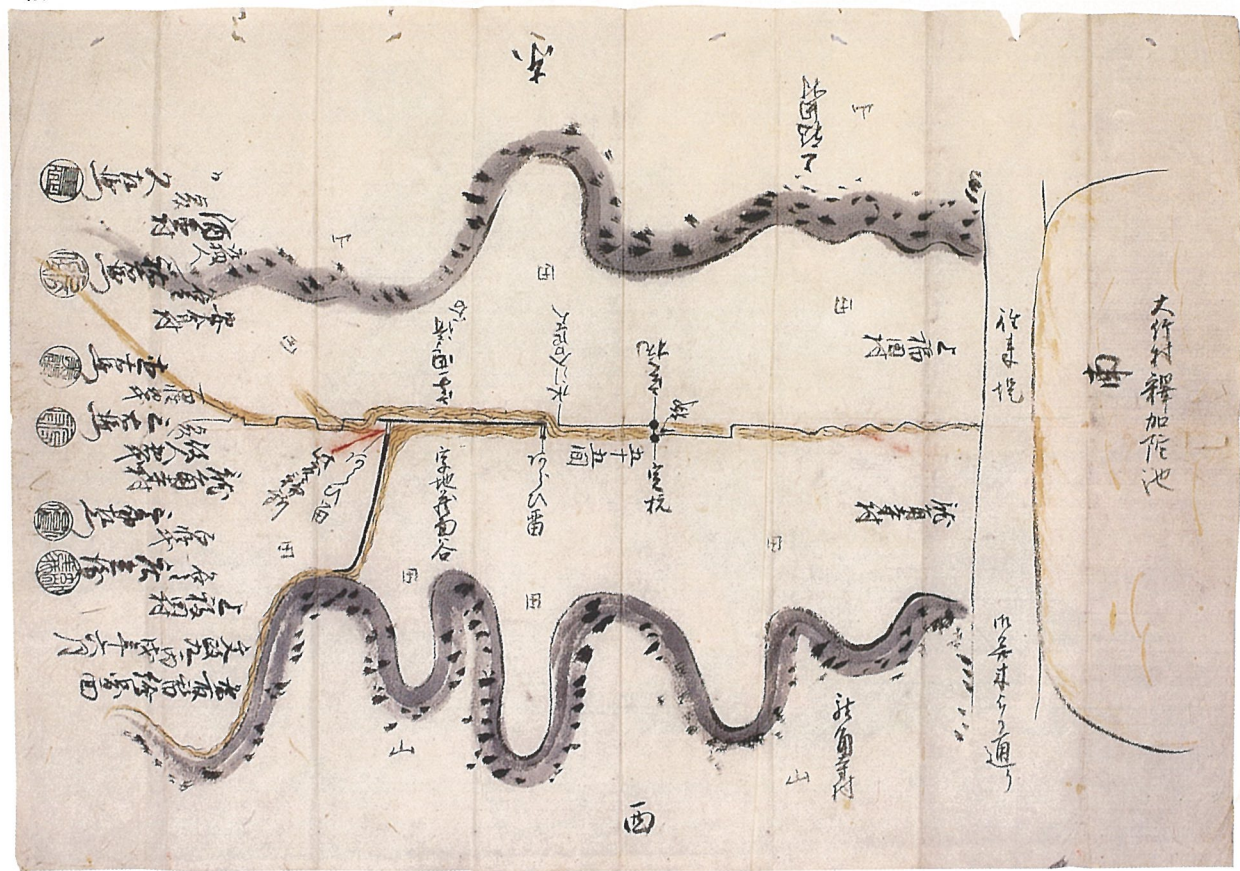
史料編一 近世一

— 麻生村 龍角寺村 酒直村 —

口絵 1



麻生村絵図 (明和8年10月) 須賀・芦田家文書 1



龍角寺村・上福田村用水一件絵図 (文政9年6月) 龍角寺区有文書225-2



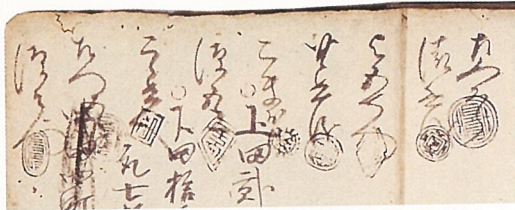
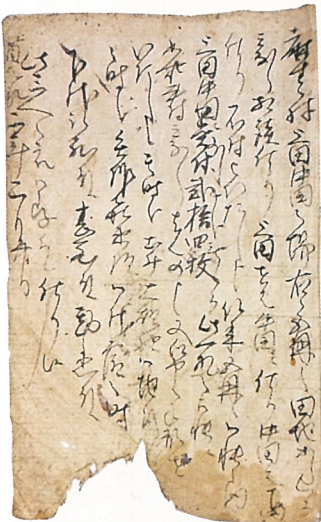
酒直村絵図 (天保14年9月)東京女学館短期大学学術資料館蔵 酒直村関係文書B-2

口絵 4



[町指定文化財]本多三弥左衛門尉正重寄進状 (慶長9年正月) 酒直区有文書Z-1

口絵 5



麻生村天正検地帳 郷中手形 (寛永2年2月) 麻生区有文書A7-15-3

## 発刊のことば

栄町長 藤江 恭

このたび、栄町史編さんの記念すべき初本として『栄町史 史料編一 近世一』が発刊できるはこびとなりましたことは、まことに喜びにたえません。私たちの町、栄町は、利根川、長門川、将監川の三河川と印旛沼といった、水と緑の豊かな自然に恵まれた景観の中にあります。また、房総風土記の丘の古墳群をはじめ龍角寺の銅造薬師如来坐像、塔跡に見られるようにいにしえの時代から、その歴史と伝統を伝え発展して参りました。

都市化が進む中、失われつつある町の歴史・文化・伝統を詳細に調べ、記録に止め後世に引き継ぐのは、現在の私たちの使命であると考え平成三年度より、栄町史の編さん事業に取り組んできたところです。本史料編の刊行は、麻生、竜角寺、酒直の三地区における江戸時代の様子を主として取りまとめたものであり、他の地区においても逐次刊行していき通史の基本とするものであります。

町民の皆様幅広くご覧いただき、栄町の歴史への理解をより深め、おおかたのご叱正を賜れば幸いです。

ここに『栄町史 史料編一 近世一』の刊行につき、資料提供、調査協力等何かと便宜を図っていただいた多くの皆様に改めてお礼を申し上げますとともに、今後とも栄町史編さん事業へのより一層のご協力を  
お願いし、発刊のことばといたします。

## 発行のことば

栄町史編さん委員会 会長 山本 正司

このたび、『栄町史 史料編一 近世一』が刊行されるはこびとなりましたことは、まことに喜びにたえません。これまでをふりかえると感慨深いものがあります。

昭和四〇年代は、成田新空港の建設等が始まり開発の波が押し寄せたことから、関係の市町村ではこれに遅れまいと市町村史編さんが始められたようです。当町においても四七年に『栄町史資料集(一)』が刊行されたことがあります。

昭和四七年に策定された「水と緑の田園観光都市」構想により、総合開発が進められ順調に進捗・成果をあげてきたところですが、計画の終わりの年も近づいたことや、社会環境、住民のニーズ、社会情勢の変化等に伴い前基本計画における課題や計画目標を継承しつつ、新しい取り組みが必要となつて、六二年に第二次基本計画が策定されました。

一方、これらの開発と並行して文化財審議会・ボランティアの協力を得ながら文化財の調査保存に努力を続けておりましたが、この新しい段階において新基本計画に、開発と文化財保存の調和をはかるため



「文化財の保護と町史資料の収集編さん事業の推進方」の採用について教育委員会を通じて六三年暮に意見具申を致しました。幸い、平成元年四月一日「栄町史編さん委員会設置条例」が施行され、組織体制が整備され、以来約一〇年、各分野毎に資料の収集調査を重ね初本が刊行されることになった次第です。『栄町史』は、通史編（2巻）史料編（11巻）別編（3巻）が計画されており、それぞれ担当のところでの調査、整理中でありますので、整次次第刊行の予定です。

おわりに、刊行について、資料の提供、調査協力等なにかと便宜をはかっていただいた多くの方々に厚くお礼申し上げます。

また、調査、編集、執筆等にお骨折りいただきました諸先生方に感謝申し上げますとともに、事務担当の職員の方々のご苦勞に対して感謝致します。

なお、昭和四七年に栄町文化財審議会が設置されるや、その当初から委員として文化財の保存に尽力され、その後長く会長を勤められ、この町史編さん事業についても会長として活躍され『栄町史』の刊行を誰よりも楽しみにされていた伊藤義一氏が、昨年九月に他界されたことは残念でなりません。この場をお借りして謹んで初本の刊行をご報告させていただきますと思います。

## 発刊のことば

監修者 大谷 貞夫

『柴町史 史料編一 近世一』が発刊されることとなりました。安食地区の旧麻生村・龍角寺村・酒直村の三か村が対象となっております。麻生村は麻生区有文書・加藤家文書、龍角寺村は竜角寺区有文書、酒直村は酒直区有文書がそれぞれ中心となっております。すでに『千葉県印旛郡柴町史資料目録1 文書目録1 竜角寺区有文書・酒直区有文書』（平成五年）が発刊されていますので、竜角寺・酒直の両区有文書については、その全貌が知られています。残念ながら麻生村に関する史料は、その発見と整理・目録化が遅かったので、目録は刊行されておりません。理想としては、目録の刊行後に史料集が発刊されるのが道筋ですので、早々の目録刊行が望まれるところであります。

本史料集では、近世史の分野、すなわち徳川家康が江戸に入門した天正一八年（一五九〇）から、江戸幕府が滅亡した慶応三年（一八六七）までを扱っておりますが、明治初期の史料も若干収載されています。藩体制は明治四年（一八七一）の廃藩置県まで存続しますし、名主制度も翌五年を境に戸長制度へ変わっていきます。やはり明治五年頃までは、江戸時代の体制が残っているからであります。

史料集の刊行は、最終的な『通史編』の執筆・刊行に向けた基礎作業であります。江戸時代の古文書・古記録は、和紙に墨と筆で書かれています。大変読みにくいもので、専門としている人々にとりましても、結構判読し難い文言が交っています。知恵をしぼって結論を出し、編集・校正の作業を進めて参りました。町民の皆さまにおかれましても、活字化された史料に取組んで、是非読破して頂きたいと思ひます。編集を担当した私どもにとりましても、大変嬉しい限りですので、公民館での勉強会などで大いに利用して頂きたいものです。

『史料編』の編集・刊行までを振り返ってみますと、随分日時を費してきたなとつくづく感じます。また、町史の編さんは「一世紀に一度の大事業」という思いを再認識した次第であります。藤江町長さんを初め役場の皆様・町会議員の皆様・町民の皆さんのご理解とご支援を切にお願い致し、発刊のことばとさせていただきます。

國學院大學教授・博士（歴史学）

## 凡 例

- 一 本巻には、近世の麻生村・龍角寺村・酒直村に関する史料を収録した。
- 二 本巻収録の史料には、掲載順の通し番号をつけ、解説などでは、史料〔七〕（通し番号七の史料の意）のように表記した。
- 三 本巻収録のすべての史料に、年代と内容を示す表題、および史料形態の大概を示した。また、各史料末尾の（ ）内に史料の所蔵者または出典、並びに史料整理番号を示した。
- 四 史料の収録にあたり、原本の形式や表記法を残すようにつとめたが、編さんの必要上と読者の便宜をはかるため、原本の意味を損じないかぎり、次のように取り扱った。
  - 1 適宣、読点・並列点をつけた。
  - 2 漢字は原則として常用漢字を使用した。ただし、常用漢字にないもの、および固有名詞などは原文のままとした。
  - 3 仮名はカタカナはそのままとし、変体仮名は原則としてひらがなに改めた。ただし、助詞の「者」（は）「而」（て）「与」（と）「江」（え）「茂」（も）や「并」（ならびに）「而已」（のみ）などは、ポイントを下げそのままとした。
  - 4 くりかえし記号は原文の表記に基づいて「々」（漢字）、「ゝ」（ひらがな）、「、」（カタカナ）とした。
  - 5 合せ字の「（より）」はそのままとした。
  - 6 俗字・略字・異体字は、原則として正字に改めたが、慣用的な異体字についてはそのまま採用し、右側に（ ）で正字を記した。
  - 7 原文中の記号「○」、「△」、「（カネガケ）」などは原則としてそのまま表記した。

8 印鑑は原文書の場合は、㊦・㊧・㊨などで示した。

五 当時慣用の当て字はそのままとし、右側に（ ）で正字を記した。また意味不明の箇所には（ママ）を、脱字には（○脱カ）を、推定の箇所には（○カ）と右側に注記した。

六 敬礼のための平出は二字、闕字は一字を空欠とし、台頭は、そのままとして右側に注記した。

七 虫損・破損などにより原文が不明な場合は、□□または「 」で示し、（虫損）などとその理由を右側に注記した。

八 原文中に削除・訂正のある箇所は、次の方法を採用した。

削除 見せ消ちの場合 麻生村

判読出来ない場合



訂正 見せ消ちの場合 (正) 龍角寺村  
(誤) 酒直村

判読出来ない場合



貼紙による場合 (貼紙訂正) 龍角寺村

九 行間に傍書された文字は原則としてそのままとし、原文中に入る箇所が明示されている場合は、なかに組み入れた。

一〇 使用した符号は次のとおりである。

( ) は編者が注記したもの。

「 」 は封表書、包紙上書、端裏書、朱書、異筆などの相当部分を示し、その文は「 」などによって示した。また、原文中の貼紙・下札などは原則として「<sup>〔貼紙〕</sup>」などの注記によって貼付の位置を示し、その文は「<sup>〔貼紙〕</sup>」な

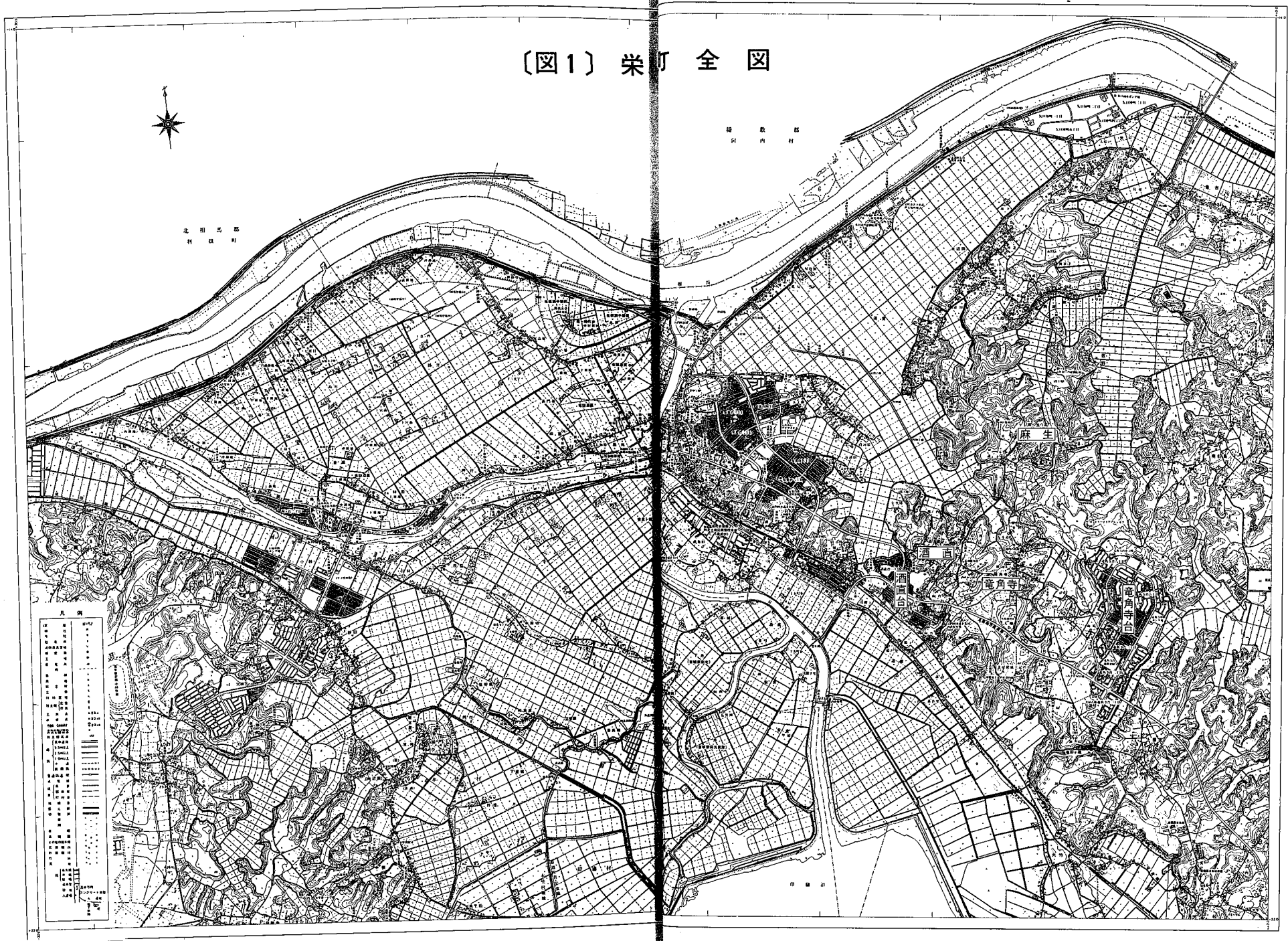
どによって示した。

一一 口絵写真の撮影は、荒井信司、弘海和良が担当した。

一二 本巻の編集は、栄町史編さん委員会専門委員（近世・近代）および総務課町史編さん室があたった。

一三 本巻収録の史料に関する地域は麻生、竜角寺、竜角寺台一丁目、六丁目、酒直、酒直台一丁目、二丁目にあたり次  
頁の〔図1〕によって示した。

(图1) 柴町全图



# 栄町史 史料編一 近世一 目次

口 絵

発刊のことば

栄町長

藤江 恭

栄町史編さん委員会 会長 山本 正司

監修者 大谷 貞夫

凡例

解説

## 一 麻生村

### 支配

(一) 文久四年十一月	御林新畑割附地引帳……………	107	(六) 慶応三年四月	五人組帳……………	118
(二) 慶応三年四月	御仕方積立金三ヶ年賦貸附帳……………	111	(七) 天保六年五月	養子貰受につき一札……………	120
(三) 明治三年四月	御仕方金銘々本取集帳……………	112	(八) 嘉永七年五月	縁付につき寺送り一札……………	120
(四) 明治三年十一月	御仕方金貸附利足二ヶ年分……………	113	(九) (江戸)	宗門人別増減書付(断簡)……………	120
村政			(一〇) 明治元年十二月	家数人別取調帳……………	121
(五) 文政十二年三月	麻生村五人組合持高帳……………	115	(一一) 慶応三年二月	村方心添仰せ付かるにつき受書……………	121
			(一二) 明治三年二月	預ヶ置候諸帳面受取帳……………	122
			(一三) 明治二年三月	村方取もつれ救合につき議定書……………	123
			(一四) 明治三年四月	村方困窮取直しにつき議定書……………	124



(一五)	天保六年十月	稗石銘々高割覚帳	126
(一六)	天保六年十二月	稗石付合覚帳	127
	(江戸)	稗米入方覚	129
	(江戸)	稗米端米覚	129
	(江戸)	稗石帳面袋	130
(一七)	天保七年四月	稗石割立覚帳	130
(一八)	天保七年四月	稗石村方割渡し覚帳	132
(一九)	天保八年正月	稗石銘々割立覚帳	133
(二〇)	天保八年十月	当戌年稗石銘々割立覚帳	134
(二一)	天保九年十一月	当亥年稗石銘々割帳	136
(二二)	天保十年十二月	稗石代金割付覚帳	137
(二三)	天保十一年五月	売麦困穀銘々割合元帳	140
(二四)	弘化二年五月	稗御備蔵詰ノ内割配貸附帳	142
(二五)	弘化三年五月	当酉売麦入替銘々覚帳	143
(二六)	嘉永二年閏四月	稗石貸附銘々帳	144
(二七)	明治二年二月	稗石貸附人別名前銘々控帳	145
(二八)	明治二年二月	稗石貸附人別銘々覚帳	145
(二九)	明治二年二月	稗石貸附銘々帳	146
(三〇)	明治三年二月	山錢銘々取立覚帳	147
(三一)	嘉永二年十二月	村高戸口税入取調	149
(三二)	慶応四年	年貢米割立につき諸帳面拝借証	
(三三)	明治二年十一月		

土地

(三四)	天正十九年九月	下総壇生莊麻生之郷御繩打水帳	151
(三五)	天正十九年九月	下総壇生莊麻生郷御繩打水帳	161
(三六)	天正十九年十月	下総国壇生莊麻生郷御繩打水帳	176
(三七)	天正十九年十月	下総国壇生莊麻生郷御繩打水帳	188
(三八)	天正十九年十月	下総壇生莊麻生之郷屋敷帳	195
(三九)	明治三年七月	田畑名寄帳書替につき議定書	198
	年貢		
(四〇)	享保二十年十月	麻生村年貢割付状	200
(四一)	元文五年十月	麻生村年貢割付状	201
(四二)	延享三年十月	麻生村年貢割付状	202
(四三)	宝曆十年十月	麻生村年貢割付状	203
(四四)	明和七年十月	麻生村年貢割付状	204
(四五)	安永二年十月	麻生村年貢割付状	205
(四六)	寛政元年十月	麻生村年貢割付状	206
(四七)	寛政二年十月	麻生村年貢割付状	207
(四八)	寛政四年十月	麻生村年貢割付状	208
(四九)	文化元年十月	麻生村年貢割付状	209
(五〇)	文政十三年十月	麻生村年貢割付状	210
(五一)	嘉永二年十月	麻生村年貢割付状	211

(五二) 安政五年十月 麻生村年貢割付状……………212

(五三) 万延元年十月 麻生村年貢割付状……………214

(五四) 文久元年十月 麻生村年貢割付状……………215

経 済

(五五) 慶応三年十一月 農間諸職業手間賃銀取究につき  
請書……………217

(五六) 慶応四年六月 板蔵普請入用控帳……………218

(五七) 明治二年六月 田畑植附帳……………224

(五八) 巳年四月 田植中議定書……………225

交 通

(五九) 文久三年八月 水戸佐倉道新宿町助郷一件につ  
き歎願書……………226

(六〇) 元治元年五月 水戸佐倉道新宿町助郷一件につ  
き歎願書……………230

(六一) (元治元)子年十二月 水戸佐倉道新宿町助郷一件につ  
き返答書……………232

(六二) 元治元年十二月 水戸佐倉道新宿町助郷一件につ  
き惣代頼一札……………234

(六三) 元治元年十二月 水戸佐倉道新宿町助郷一件につ  
き賞書……………235

(六四) 元治二年二月 水戸佐倉道新宿町助郷人馬につ

(六五) 慶応元年十二月 水戸佐倉道新宿町助郷一件につ  
き雇替金受取書……………236

き濟口証文……………237

水 利

(六六) 寛政十年六月 来未仕越御普請所仕様帳……………240

(六七) 寛政十一年六月 麻生村申仕越御普請所仕様帳……………241

(六八) 文政九年三月 戌年御普請仕様帳……………242

(六九) 慶応四年六月 定溜御普請仕様帳……………242

宗 教

(七〇) (江戸) 永世諸役出銭等につき免状……………244

(七一) 明治三年一月 大寺改還奉金につき賞状……………244

二 龍角寺村

支 配

(七二) 天正十九年十一月 徳川家康朱印状写……………247

(七三) 慶安元年八月 徳川家光朱印状写……………247

(七四) 寛文五年七月 徳川家綱朱印状写……………247

(七五) 貞享二年六月 徳川綱吉朱印状写……………248

(七六) 享保三年七月 徳川吉宗朱印状写……………248

(七七) 延享四年八月 徳川家重朱印状写……………248

(七八) 宝暦十二年八月 徳川家治朱印状写……………248

(七九)	天明八年九月	徳川家斉朱印状写	249
(八〇)	天保十年九月	徳川家慶朱印状写	249
(八一)	安政二年九月	徳川家定朱印状写	249
(八二)	万延元年九月	徳川家茂朱印状写	250
(八三)	(文久元年)	御朱印取調につき口達書	250
(八四)	(文久元) 酉年八月	安政度御朱印御渡郡村写	250
(八五)	(明治二) 巳年三月	手目録	251
(八六)	年欠	手目録	252
(八七)	(天保九) 戌年四月	御朱印改につき書状	252
(八八)	天保九年閏四月	御朱印写取掛りにつき書状	253
(八九)	(天保九年) 閏四月	御朱印写出来につき書状	253
(九〇)	天保九年閏四月	御朱印用預り金につき覚	253
(九一)	(天保九年) 五月	御朱印写類持参方につき書状	254
(九二)	(天保九) 戌年六月	御朱印虫喰并染之御届書控	254
(九三)	(天保九年) 六月	美濃紙帳面之写并手目録持参方につき書状	255
(九四)	(天保九) 戌年閏四月	手目録	255
(九五)	(天保九年六月)	備前守宅寄合につき書付	256
(九六)	(天保十一年) 十一月	御朱印下付につき書状	256
(九七)	(安政二年) 十二月	御朱印下付につき書状	257
(九八)	(万延二年) 二月	御朱印下付につき書状	257

(九九)	(慶長十六) 亥年七月	龍角寺知行之事	257
(一〇〇)	天明四年九月	佐倉往来並木御林境につき取替一札	258
(一〇一)	文久四年二月	取香牧込場土手普請請負につき一札	258
(一〇二)	(元治元) 子年十一月	小金奉行旅宿賄入用受取につき覚	259
(一〇三)	慶応二年四月	酒々井町御払場土手普請につき一札	260
(一〇四)	(慶応二年)	酒々井町御払場土手普請扶持米御下につき覚	260
(一〇五)	明治二年正月	内野牧土手普請請負につき一札	260
<b>村政</b>			
(一〇六)	明和三年正月	龍角寺村御指出シ書上帳	262
(一〇七)	明和九年十月	龍角寺村御指出シ明細帳	265
(一〇八)	文政十二年三月	龍角寺村五人組合持高帳	270
(一〇九)	嘉永七年二月	龍角寺村五人組合持高帳	273
(一一〇)	文政十二年三月	博奕賭之諸勝負につき議定一札	277
(一一一)	文久三年三月	博奕諸勝負につき若衆覚書	279
(一一二)	嘉永五年閏二月	新山御請印議定連名帳	280
(一一三)	慶応二年十月	龍角寺村上納筋引方につき欺願	

書控……………286

(二四) 慶応二年十二月 村方困窮取直元立備え金につき

願書控……………287

(二五) 慶応二年十二月 困窮取直元立金につき村議定連

印帳……………288

(二六) 慶応三年四月 村方困窮取直元立金上納につき

覚……………291

土地

(二七) 天正十九年十一月 下総国殖生庄龍角寺之郷水帳写……………292

(二八) 天正十九年十一月 下総国殖生庄龍角寺之郷水帳……………296

(二九) 天正十九年十一月 下総国殖生郡龍角寺之郷水帳……………301

(三〇) 天正十九年十一月 下総国殖生庄龍角寺之郷水帳写……………305

(三一) 天正十九年十一月 下総国殖生郡龍角寺之郷水帳……………315

(三二) 天正十九年十一月 下総国殖生庄龍角寺之郷水帳写……………320

(三三) 天正十九年十一月 下総国殖生郡龍角寺之郷水帳……………325

(三四) 天正十九年十一月 下総国香取郡殖生庄龍角寺之郷

御縄水帳写……………332

(三五) 天正十九年十一月 下総国殖生郡龍角寺之郷屋敷帳……………337

(三六) 天正十九年十一月 下総国殖生郡龍角寺之郷見捨帳……………341

(三七) 天正二十辰年二月 下総国殖生庄龍角寺郷御水帳

(龍角寺領)……………344

(二八) 万治三年二月

(二九) 正徳四年十月

年貢

(三〇) 寛永十二年十月

(三一) 寛永十五年十月

(三二) 寛永十八年十月

(三三) 寛永十九年十月

(三四) 寛永二十年十一月

(三五) 寛永二十一年十月

(三六) 正保二年十月

(三七) 正保三年十月

(三八) 正保四年十月

(三九) 承応元年十月

(四〇) 承応二年十月

(四一) 承応三年十月

(四二) 明暦元年十一月

(四三) 明暦二年十月

(四四) 明暦三年九月

(四五) 万治元年十月

(四六) 万治二年十月

下総国殖生郡龍角寺村田畑地誌

帳……………345

龍角寺村新道代永引帳……………382

龍角寺村年貢割付状……………384

龍角寺村年貢割付状……………384

龍角寺村年貢割付状……………385

龍角寺村年貢割付状……………385

龍角寺村年貢割付状……………386

龍角寺村年貢割付状……………386

龍角寺村年貢割付状……………387

龍角寺村年貢割付状……………387

龍角寺村年貢割付状……………388

龍角寺村年貢割付状……………388

龍角寺村年貢割付状……………389

龍角寺村年貢割付状……………389

龍角寺村年貢割付状……………390

龍角寺村年貢割付状……………390

龍角寺村年貢割付状……………391

龍角寺村年貢割付状……………392

龍角寺村年貢割付状……………392

龍角寺村年貢割付状……………393

(二四七)	万治三年十月	龍角寺村年貢割付状	393
(二四八)	寛文元年十一月	龍角寺村年貢割付状	394
(二四九)	寛文二年十月	龍角寺村年貢割付状	395
(二五〇)	寛文三年十月	龍角寺村年貢割付状	395
(二五一)	寛文四年十月	龍角寺村年貢割付状	396
(二五二)	寛文五年十月	龍角寺村年貢割付状	397
(二五三)	寛文六年十一月	龍角寺村年貢割付状	397
(二五四)	寛文七年十月	龍角寺村年貢割付状	398
(二五五)	寛文八年十一月	龍角寺村年貢割付状	399
(二五六)	寛文九年閏十月	龍角寺村年貢割付状	399
(二五七)	寛文十年十月	龍角寺村年貢割付状	400
(二五八)	寛文十一年十月	龍角寺村年貢割付状	401
(二五九)	寛文十二年十月	龍角寺村年貢割付状	402
(二六〇)	延宝元年十月	龍角寺村年貢割付状	402
(二六一)	延宝二年十一月	龍角寺村年貢割付状	403
(二六二)	延宝三年十月	龍角寺村年貢割付状	404
(二六三)	延宝四年十月	龍角寺村年貢割付状	404
(二六四)	延宝五年十一月	龍角寺村年貢割付状	405
(二六五)	延宝六年十一月	龍角寺村年貢割付状	406
(二六六)	延宝七年十一月	龍角寺村年貢割付状	406
(二六七)	延宝八年十一月	龍角寺村年貢割付状	407

(二六八)	天和元年十一月	龍角寺村年貢割付状	408
(二六九)	天和二年十月	龍角寺村年貢割付状	408
(二七〇)	天和三年十月	龍角寺村年貢割付状	409
(二七一)	貞享元年十月	龍角寺村年貢割付状	410
(二七二)	貞享二年十一月	龍角寺村年貢割付状	410
(二七三)	貞享三年十一月	龍角寺村年貢割付状	411
(二七四)	貞享四年十一月	龍角寺村年貢割付状	412
(二七五)	元禄元年十一月	龍角寺村年貢割付状	413
(二七六)	元禄二年十一月	龍角寺村年貢割付状	413
(二七七)	元禄三年十一月	龍角寺村年貢割付状	414
(二七八)	元禄四年十一月	龍角寺村年貢割付状	415
(二七九)	元禄五年十一月	龍角寺村年貢割付状	416
(二八〇)	元禄六年十一月	龍角寺村年貢割付状	417
(二八一)	元禄七年十一月	龍角寺村年貢割付状	417
(二八二)	元禄八年十一月	龍角寺村年貢割付状	418
(二八三)	元禄九年十一月	龍角寺村年貢割付状	419
(二八四)	元禄十年十一月	龍角寺村年貢割付状	420
(二八五)	元禄十一年十一月	龍角寺村年貢割付状	420
(二八六)	元禄十二年十一月	龍角寺村年貢割付状	421
(二八七)	元禄十三年十一月	龍角寺村年貢割付状	422
(二八八)	元禄十四年十一月	龍角寺村年貢割付状	423

(一八九)	元禄十五年十月	龍角寺村年貢割付状	423	(三二〇)	享保八年十月	龍角寺村年貢割付状	441
(一九〇)	元禄十六年十月	龍角寺村年貢割付状	424	(三二一)	享保九年十月	龍角寺村年貢割付状	441
(一九一)	宝永元年十月	龍角寺村年貢割付状	425	(三二二)	享保十年十月	龍角寺村年貢割付状	442
(一九二)	宝永二年十月	龍角寺村年貢割付状	426	(三二三)	享保十一年十月	龍角寺村年貢割付状	443
(一九三)	宝永三年十月	龍角寺村年貢割付状	426	(三二四)	享保十二年十月	龍角寺村年貢割付状	444
(一九四)	宝永四年十月	龍角寺村年貢割付状	427	(三二五)	享保十三年十月	龍角寺村年貢割付状	446
(一九五)	宝永五年十月	龍角寺村年貢割付状	428	(三二六)	享保十四年十月	龍角寺村年貢割付状	447
(一九六)	宝永六年十月	龍角寺村年貢割付状	429	(三二七)	享保十五年十月	龍角寺村年貢割付状	448
(一九七)	宝永七年十月	龍角寺村年貢割付状	430	(三二八)	享保十六年十月	龍角寺村年貢割付状	449
(一九八)	正徳元年十月	龍角寺村年貢割付状	431	(三二九)	享保十七年十月	龍角寺村年貢割付状	450
(一九九)	正徳二年十月	龍角寺村年貢割付状	432	(三三〇)	享保十八年十月	龍角寺村年貢割付状	451
(二〇〇)	正徳三年十月	龍角寺村年貢割付状	433	(三三一)	享保十九年十一月	龍角寺村年貢割付状	452
(二〇一)	正徳四年十月	龍角寺村年貢割付状	433	(三三二)	享保二十年十月	龍角寺村年貢割付状	453
(二〇二)	正徳五年十月	龍角寺村年貢割付状	434	(三三三)	元文元年十月	龍角寺村年貢割付状	455
(二〇三)	享保元年十月	龍角寺村年貢割付状	435	(三三四)	元文二年十月	龍角寺村年貢割付状	456
(二〇四)	享保二年十月	龍角寺村年貢割付状	436	(三三五)	元文三年十月	龍角寺村年貢割付状	457
(二〇五)	享保三年閏十月	龍角寺村年貢割付状	437	(三三六)	元文四年十月	龍角寺村年貢割付状	458
(二〇六)	享保四年十月	龍角寺村年貢割付状	438	(三三七)	元文五年十月	龍角寺村年貢割付状	459
(二〇七)	享保五年十月	龍角寺村年貢割付状	439	(三三八)	寛保元年十月	龍角寺村年貢割付状	460
(二〇八)	享保六年十月	龍角寺村年貢割付状	440	(三三九)	寛保二年十月	龍角寺村年貢割付状	462
(二〇九)	享保七年十月	龍角寺村年貢割付状	443	(三四〇)	寛保三年十月	龍角寺村年貢割付状	463

(二三二)	延享元年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	464	(二五二)	明和二年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	491
(二三三)	延享二年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	465	(二五三)	明和三年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	492
(二三四)	延享三年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	467	(二五四)	明和四年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	493
(二三五)	延享四年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	468	(二五五)	明和五年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	494
(二三六)	寬延元年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	469	(二五六)	明和六年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	496
(二三七)	寬延二年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	470	(二五七)	明和七年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	497
(二三八)	寬延三年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	472	(二五八)	明和八年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	498
(二三九)	寬延四年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	473	(二五九)	明和九年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	500
(二四〇)	寶曆二年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	474	(二六〇)	安永二年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	501
(二四一)	寶曆三年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	475	(二六一)	安永三年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	502
(二四二)	寶曆四年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	477	(二六二)	安永四年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	504
(二四三)	寶曆五年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	478	(二六三)	安永五年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	505
(二四四)	寶曆六年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	479	(二六四)	安永六年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	506
(二四五)	寶曆七年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	480	(二六五)	安永七年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	507
(二四六)	寶曆八年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	482	(二六六)	安永八年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	509
(二四七)	寶曆九年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	483	(二六七)	安永九年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	510
(二四八)	寶曆十年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	484	(二六八)	天明元年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	511
(二四九)	寶曆十一年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	486	(二六九)	天明二年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	513
(二五〇)	寶曆十二年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	487	(二七〇)	天明三年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	514
(二五一)	寶曆十三年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	488	(二七一)	天明四年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	515
	明和元年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	489	(二七二)	天明五年十月	龍角寺村年貢割付狀……………	517

(二七三)	天明六年十月	龍角寺村年貢割付状	518	(二九四)	文化五年十月	龍角寺村年貢割付状	546
(二七四)	天明七年十月	龍角寺村年貢割付状	519	(二九五)	文化七年十月	龍角寺村年貢割付状	548
(二七五)	天明八年十月	龍角寺村年貢割付状	521	(二九六)	文化八年十月	龍角寺村年貢割付状	549
(二七六)	寛政元年十月	龍角寺村年貢割付状	522	(二九七)	文化九年十月	龍角寺村年貢割付状	550
(二七七)	寛政二年十月	龍角寺村年貢割付状	523	(二九八)	文化十年十月	龍角寺村年貢割付状	552
(二七八)	寛政三年十月	龍角寺村年貢割付状	525	(二九九)	文化十一年十月	龍角寺村年貢割付状	553
(二七九)	寛政四年十月	龍角寺村年貢割付状	526	(三〇〇)	文化十二年十月	龍角寺村年貢割付状	554
(二八〇)	寛政五年十月	龍角寺村年貢割付状	527	(三〇一)	文化十三年十月	龍角寺村年貢割付状	556
(二八一)	寛政六年十月	龍角寺村年貢割付状	528	(三〇二)	文化十四年十月	龍角寺村年貢割付状	557
(二八二)	寛政七年十月	龍角寺村年貢割付状	530	(三〇三)	文政元年十月	龍角寺村年貢割付状	559
(二八三)	寛政八年十月	龍角寺村年貢割付状	531	(三〇四)	文政二年十月	龍角寺村年貢割付状	560
(二八四)	寛政九年十月	龍角寺村年貢割付状	533	(三〇五)	文政三年十月	龍角寺村年貢割付状	561
(二八五)	寛政十年十月	龍角寺村年貢割付状	534	(三〇六)	文政四年十月	龍角寺村年貢割付状	563
(二八六)	寛政十二年十月	龍角寺村年貢割付状	535	(三〇七)	文政五年十月	龍角寺村年貢割付状	564
(二八七)	享和元年十月	龍角寺村年貢割付状	537	(三〇八)	文政六年十月	龍角寺村年貢割付状	565
(二八八)	享和二年十月	龍角寺村年貢割付状(後欠)	538	(三〇九)	文政七年十月	龍角寺村年貢割付状	567
(二八九)	享和三年十月	龍角寺村年貢割付状	539	(三一〇)	文政八年十月	龍角寺村年貢割付状	568
(二九〇)	文化元年十月	龍角寺村年貢割付状	541	(三一〇)	文政九年十月	龍角寺村年貢割付状	569
(二九一)	文化二年十月	龍角寺村年貢割付状	542	(三一三)	文政十年十月	龍角寺村年貢割付状	571
(二九二)	文化三年十月	龍角寺村年貢割付状	544	(三一三)	文政十一年十月	龍角寺村年貢割付状	572
(二九三)	文化四年十月	龍角寺村年貢割付状	545	(三一四)	文政十二年十月	龍角寺村年貢割付状	574



(三二五)	文政十三年十月	龍角寺村年貢割付状	575
(三二六)	天保二年十月	龍角寺村年貢割付状	577
(三二七)	天保三年十月	龍角寺村年貢割付状	578
(三二八)	天保四年十月	龍角寺村年貢割付状	579
(三二九)	天保五年十月	龍角寺村年貢割付状	581
(三三〇)	天保六年十月	龍角寺村年貢割付状	582
(三三一)	天保七年十月	龍角寺村年貢割付状	584
(三三二)	天保八年十月	龍角寺村年貢割付状	585
(三三三)	天保九年十月	龍角寺村年貢割付状	587
(三三四)	天保十年十月	龍角寺村年貢割付状	588
(三三五)	天保十一年十月	龍角寺村年貢割付状	589
(三三六)	天保十二年十月	龍角寺村年貢割付状	591
(三三七)	天保十三年十月	龍角寺村年貢割付状	592
(三三八)	天保十四年十月	龍角寺村年貢割付状	594
(三三九)	天保十五年十月	龍角寺村年貢割付状	595
(三三〇)	弘化二年十月	龍角寺村年貢割付状	596
(三三一)	弘化三年十月	龍角寺村年貢割付状	598
(三三二)	弘化四年十月	龍角寺村年貢割付状	599
(三三三)	嘉永元年十月	龍角寺村年貢割付状	601
(三三四)	嘉永二年十月	龍角寺村年貢割付状	602
(三三五)	嘉永三年十月	龍角寺村年貢割付状	603
(三三六)	嘉永四年十月	龍角寺村年貢割付状	605
(三三七)	嘉永五年十月	龍角寺村年貢割付状	607
(三三八)	嘉永六年十月	龍角寺村年貢割付状	608
(三三九)	嘉永七年十月	龍角寺村年貢割付状	609
(三四〇)	安政二年十月	龍角寺村年貢割付状	611
(三四一)	安政三年十月	龍角寺村年貢割付状	613
(三四二)	安政四年十月	龍角寺村年貢割付状	614
(三四三)	安政五年十月	龍角寺村年貢割付状	616
(三四四)	安政六年十月	龍角寺村年貢割付状	617
(三四五)	万延元年十月	龍角寺村年貢割付状	618
(三四六)	文久元年十月	龍角寺村年貢割付状	620
(三四七)	文久二年十月	龍角寺村年貢割付状	621
(三四八)	文久三年十月	龍角寺村年貢割付状	623
(三四九)	元治元年十月	龍角寺村年貢割付状	624
(三五〇)	慶応元年十月	龍角寺村年貢割付状	626
(三五二)	慶応二年十月	龍角寺村年貢割付状	627
(三五三)	慶応三年十月	龍角寺村年貢割付状	629
(三五四)	明治二年十月	龍角寺村年貢割付状	630
(三五五)	明治四年十月	龍角寺村年貢割付状	631
(三五五)	寬永二十年七月	午年物成定納之事	633
(三五六)	安永二年八月	龍角寺村已年御年貢米金錢納通	633

經濟

- (三五七) 嘉永六年四月 農馬御拝借証文之事……………635
- (三五八) 安政二年十月 農馬御拝借証文之事……………635
- (三五九) 安政二年十月 農馬御拝借証文之事……………636
- (三六〇) (慶応元年閏五月) 大森御役所御馬拝借覚……………637
- (三六一) (元治二年) 拝借農馬代金年賦不納につき覚……………637
- (三六二) (慶応元) 丑年閏五月 拝借農馬代金年賦不納につき調書……………638

交通

- (三六三) 天保二年七月 繼立人馬証札……………639
- (三六四) (江戸) 助郷人馬割合取究につき覚……………639

水利

- (三六五) 文政九年六月 龍角寺村・上福田村用水一件につき濟口証文……………641

宗教

- (三六六) (寛保三年) 龍角寺・大竹村円光寺并本寺海隣寺談義公事一件書写……………643
- (三六七) 五月 龍角寺他宗の談義説法押え一件につき書状……………647
- (三六八) 天保二年十二月 龍角寺高純住職雜記……………648
- (三六九) 十月二十七日 一代限表色衣着用御免願につき……………648

書状

- (三七〇) 文政八年十月 木蘭色衣認可につき輪王寺一品令旨……………676
- (三七二) 明治三年正月 龍角寺褒賞状写……………677
- (三七三) 嘉永三年五月 天竺山寺中境内除地堂社并新古買添分限帳……………677
- (三七四) (江戸) 龍角寺村寺院取調書上帳……………681
- (三七五) 安政五年八月 龍角寺村牛頭天王社地事……………682
- (三七六) 丑年九月 総州龍角寺常念仏由来……………682
- (三七七) 文政五年四月 天竺山常念仏再建立奉加無尽仕法帳……………683
- (三七八) 文政七年四月 薬師堂銅瓦建立につき一札……………685
- (三七九) (江戸) 薬師尊御堂再勸化名前帳……………686
- (三八〇) 巳年三月 龍神宮御祭礼御祈禱料控……………687
- (三八一) 巳年三月 龍神宮祭礼当番につき覚……………688
- (三八二) 丑年三月 常念仏回向につき番念仏日割……………689

文化

- (三八二) 天保十一年正月 性学破門一件関係書写……………690
- (三八三) 天保六年正月 伊藤嘉平次性学同門加入につき神文……………692
- (三八四) 天保七年五月 林田七藏性学同門加入につき神……………692

文……………692

〔三八五〕天保九年十二月

大野勝藏性学同門加入につき神

文……………693

〔三八六〕天保九年十二月

渡辺徳平性学同門加入につき神

文……………693

〔三八七〕天保十五年九月

勘七性学道友加入につき神文……………694

〔三八八〕弘化二年十二月

渡辺徳太郎性学道友加入につき神文……………694

大野勘之助性学道友加入につき神文……………695

〔三八九〕弘化二年十二月

林田七之助性学道友加入につき神文……………695

林田七五郎性学道友加入につき神文……………696

〔三九〇〕嘉永五年十二月

伊藤新太郎性学道友加入につき神文……………696

大野勝三郎性学道友加入につき神文……………697

〔三九一〕万延元年十二月

〔四〇〇〕寛文五年十一月

〔四〇一〕寛文九年閏十月

〔四〇二〕延宝七年十一月

〔四〇三〕天和二年十一月

〔四〇四〕天和三年十一月

〔四〇五〕元禄元年十月

〔四〇六〕元禄二年九月

〔四〇七〕元禄九年十一月

〔四〇八〕宝永四年十月

〔四〇九〕正徳元年十月

〔三九四〕慶長九年正月

本多正重寄進状……………701

村政

〔三九五〕延宝二年二月

酒直村・大竹村地境之土手支配につき手形……………702

〔三九六〕寅年六月

酒直村迎山松木等御払開発につき願書……………702

〔三九七〕天保十年二月

御払野馬買請ざるにつき申上書……………703

土地

〔三九八〕明和九年正月

酒直村田方谷切帳……………704

年貢

〔三九九〕午年十二月

見取場御割付記載につき覚……………717

〔四〇〇〕寛文五年十一月

酒直村年貢割付状(前欠)……………719

〔四〇一〕寛文九年閏十月

酒直村年貢割付状……………721

〔四〇二〕延宝七年十一月

酒直村年貢割付状……………724

〔四〇三〕天和二年十一月

酒直村年貢割付状……………727

〔四〇四〕天和三年十一月

酒直村年貢割付状……………730

〔四〇五〕元禄元年十月

酒直村年貢割付状……………734

〔四〇六〕元禄二年九月

酒直村年貢割付状……………737

〔四〇七〕元禄九年十一月

酒直村年貢割付状……………741

〔四〇八〕宝永四年十月

酒直村年貢割付状……………745

〔四〇九〕正徳元年十月

酒直村年貢割付状(前欠)……………749

三 酒直村

支配

(四一〇)	正徳五年十月	酒直村年貢割付状	751
(四一一)	享保元年十月	酒直村年貢割付状	755
(四一二)	享保八年十月	酒直村年貢割付状	759
(四一三)	享保九年十月	酒直村年貢割付状	763
(四一四)	元文五年十月	酒直村年貢割付状(中欠)	767
(四一五)	寛延三年十月	酒直村年貢割付状	770
(四一六)	明和七年十月	酒直村年貢割付状	775
(四一七)	安永三年十月	酒直村年貢割付状	779
(四一八)	天明三年十月	酒直村年貢割付状	783
(四一九)	寛政六年十月	酒直村年貢割付状	788
(四二〇)	弘化二年十月	酒直村年貢割付状	793
(四二一)	延宝五年三月	請取卯御年貢米永之事	797
(四二二)	(延宝九)酉年三月	申ノ御城米納分ケ	797
(四二三)	貞享四年十二月	請取申御年貢米永之事	798
(四二四)	元禄四年正月	未進米并年貢米之内浅草御藏納 につき覚	798
(四二五)	元禄八年二月	酒直村戌御年貢在大豆納事	799
(四二六)	元禄八年十二月	年貢残米之内につき請取	799
(四二七)	元禄九年七月	酒直村子夏成御年貢金納事	800
(四二八)	(宝永元)申年八月	破船濡米弁金内請取につき覚	800
(四二九)	元禄三年十一月	酒直新田畑方年貢永につき請取	800

(四三〇)	元禄七年二月	酒直卜杭新田畑方年貢金并百石 忝分金につき請取	801
-------	--------	----------------------------	-----

(四三一)	(元禄九)子年正月	酒直卜杭新田年貢金納小判高歩 銀請取につき覚	801
-------	-----------	---------------------------	-----

宗 教

(四三二)	嘉永七年三月	多宝院住職履歴等につき証文 (前欠)	802
-------	--------	-----------------------	-----

(四三三)	享保九年十二月	多宝院建立借用残金預金につき 書付	802
-------	---------	----------------------	-----

(四三四)	安政四年九月	観音堂再建立勸金大帳	803
-------	--------	------------	-----

(四三五)	安政四年十二月	観音堂再建立勸金并諸賄帳	810
-------	---------	--------------	-----

(四三六)	天保四年正月	拾四社本地種字並神名譜 全	818
-------	--------	---------------	-----

文書群解題  
栄町史編さん事業関係者一覧  
本巻執筆者・協力者一覧

解

説

# 一 麻生村

## 概 説

麻生地区は現在の大字麻生と竜角寺台五・六丁目の一部にあたる。

麻生という地名については、承平年間（九三一〜九三六）の成立とされる「和名類聚抄」に埴生郡麻在郷とあり、また龍角寺五斗時瓦窯跡から大量に出土した文字瓦「朝布」は、調査成果により七世紀第3・四半期（八五〇〜八七五）という年代があたえられたことから（財団法人印旛都市文化財センター『千葉県印旛郡栄町龍角寺五斗時瓦窯跡』）、古来から呼称されていたことがわかってきている。

そして近世に入ると、史料〔三四〜三八〕に掲載した天正一九年（一五九一）検地帳に「埴生莊麻生郷」とあるよ

うに明確化している。

小字名（通称含む）はというと、「表1」に示すような変遷がある。現在は二一の小字名で構成されているが、天正一九年では二五種類の名称が知られている。そのうちの一四種類が最初の土地台帳に、既に記載されていたことになる。

それからおよそ一八〇年後の明和八年（一七七二）一月〔麻生村絵図〕〔口絵1〕ならびに、安永九年（一七八〇）正月・天明二年（一七八二）五月〔田方・畑方反別帳〕では二七種類を数え、「三斗時」「大もね」「蔵下」「竹ノ下」が確認でき、ほぼ現在の小字名が出そろった。その後、明治三年（一八七〇）にも同系統の名寄帳が作成されるが、用字が違う程度でほぼ同様の内容となっている。

また文化七年（一八一〇）三月〔麻生村御林絵図〕では、山林部の地名が明らかとなる。一五種類を数えるが、

栄町史 史料編一 近世一

— 麻生村 龍角寺村 酒直村 —

平成一一年三月三一日 発行

編集 栄町史編さん委員会

発行 栄 町

千葉県印旛郡栄町安食台二丁目二番  
印刷 第一法規出版株式会社